

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【公表番号】特表2007-537490(P2007-537490A)

【公表日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2007-049

【出願番号】特願2007-513240(P2007-513240)

【国際特許分類】

G 03 B 21/16 (2006.01)

G 03 B 21/14 (2006.01)

F 21 V 29/02 (2006.01)

H 01 L 33/00 (2006.01)

【F I】

G 03 B 21/16

G 03 B 21/14 A

F 21 M 7/00 L

H 01 L 33/00 N

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月2日(2008.5.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

投影装置であって、

投影のための光を生じる発光ダイオード(LED)と、

前記LEDに結合されており前記LEDに電力を提供する電源と、

前記LEDに熱的に結合されており前記LEDの熱条件に少なくとも部分的に基づく出力を提供するように構成された熱センサと、

前記LEDに熱的に結合された冷却システムと、

前記熱センサに結合されており、前記LEDに提供される電力を部分的に減衰する態様で前記電源を制御し、前記熱センサから受け取られる出力に少なくとも部分的に基づいて前記LEDを冷却するように前記冷却システムを制御するプロセッサと、

を含むことを特徴とする投影装置。

【請求項2】

請求項1記載の投影装置において、前記冷却システムは液体冷却システムを含むことを特徴とする投影装置。

【請求項3】

請求項1記載の投影装置において、前記冷却システムは熱電気クーラを含むことを特徴とする投影装置。

【請求項4】

請求項1記載の投影装置において、

前記プロセッサに結合されており前記LEDによって出力される光の量に関する情報を提供する光出力モニタを更に含んでおり、

前記プロセッサは、前記LEDによって出力される光の量に関する提供された情報に少なくとも部分的に基づいて前記電源と前記冷却システムとを制御することを特徴とする投

影装置。

【請求項 5】

投影装置であつて、

投影のための光を生じる発光ダイオード（ＬＥＤ）と、

前記ＬＥＤに結合されており前記ＬＥＤに電力を提供する電源と、

前記ＬＥＤに熱的に結合された冷却システムと、

前記ＬＥＤから出力される光の量に関する情報を提供する光出力モニタと、

前記電源と前記冷却システムと前記光出力モニタとに結合されており、前記光出力モニタから提供された情報に少なくとも部分的に基づいて少なくとも前記電源と前記冷却システムとを制御するプロセッサと、

を含むことを特徴とする投影装置。

【請求項 6】

請求項 5 記載の投影装置において、

前記ＬＥＤに熱的に結合されており前記ＬＥＤの熱条件に少なくとも部分的に基づく出力を提供する熱センサを更に含んでおり、

前記プロセッサは、前記熱センサから提供される出力に少なくとも部分的に基づいて前記前記電源又は前記冷却システムを制御することを特徴とする投影装置。

【請求項 7】

請求項 5 記載の投影装置において、前記冷却システムは熱電気クーラを含むことを特徴とする投影装置。

【請求項 8】

請求項 5 記載の投影装置において、前記冷却システムは複数の冷却スティックを含むことを特徴とする投影装置。

【請求項 9】

請求項 5 記載の投影装置において、前記冷却システムは液体冷却システムであることを特徴とする投影装置。

【請求項 10】

請求項 9 記載の投影装置において、前記冷却システムは強制空気冷却装置を含むことを特徴とする投影装置。